

3 ムダを徹底的に排除し、成果を意識した行財政運営

(10) ア	良きガバナンスの実現 説明責任と透明性の確保 ～オープン市役所～	<取組所管> ・取組①～④：局・室
-----------	-------------------------------------	----------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

・下記実績欄のとおり、高い水準を保っていることから、施策や事務事業の実施・変更等について、意思決定のプロセスや事務事業の内容、公金の使途、流れ等を見える化する「オープン市役所」に取り組んだことにより、市民に対する説明責任を果たし、市政運営の透明性を図ることができた。

□ 3年間の取組状況

次の4つの柱からなる「オープン市役所」に取り組んだ。

<「施策プロセス」の見える化>

・「施策プロセスの見える化（施策カルテ）」については、平成24年4月からの試行実施を経て、平成25年3月には、各所属において選定を行った施策について、見える化を図った。また、平成26年6月からは、市政運営の基本方針に基づき重点的に進めている施策については全て、施策カルテを作成することとし、主要施策について、その発端から決定・実行までのプロセスを公表している。**（取組①）**

<「市民の声」の見える化>

・「市民の声の見える化」については、平成24年10月から本格運用を開始し、原則として全件公表している。**（取組②）**

<予算編成過程の公表>

・予算要求状況と事業概要を明らかにする「予算事業一覧」及び「事業概要説明資料」を予算要求段階から公表するなど、予算編成過程を公開した。**（取組③）**

<公金支出情報の公表>

・前月の公金支出情報を平成25年8月からホームページに掲載を開始し、毎月公表している。**（取組④）**

---

【取組の実施状況】 取組①：A、取組②：A、取組③：A、取組④：A

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
市がどのように施策・事業を決めているのかが分かりやすいと思う市民の割合	平成26年度 69.2%	②
平成26年度までに80%	(参考) 平成24年度 71.6%	
	平成25年度 69.8%	

□ 課題と今後の方向性

・今後も「オープン市役所」の取組について、引き続き安定的に運用するとともに、様々な機会を捉えて市民周知を図るとともに、さらなる見やすさ、使いやすさなどの向上に取り組んでいく。

※「実績」欄の平成26年度決算額は見込額。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった  
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった